



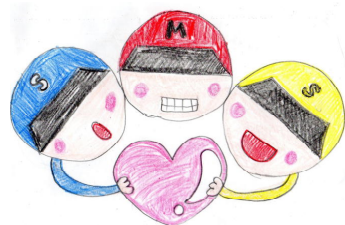
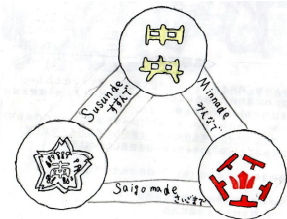
もやいの力

義務教育9年間でましましとじて

令和2年度も残すところ1ヶ月あまり。新型コロナウイルスの影響で、学校だけでなく家庭や地域でも感染防止への配慮が必要で、十分な活動ができなかった1年が終わろうとしています。そのような中、中央学園では、学園スローガンのロゴマーク募集やサポート本部の設置に向けた準備委員会の開催等、学校、家庭、地域が総がかりで子供を育てる体制づくりが進み始めました。また、PTAでは、3校合同で家庭での基本的な生活習慣を定着させる「おうちdeチャレンジ」が11月に行われました。義務教育9年間を見据えて子供の成長を促す取組が着実に進み始めています。子供をとりまく環境づくりは大人の役割です。これからも皆様の御理解と活動への主体的な参加、参画をお願いしたいと思います。

学園ロゴマーク優秀作品が決まりました！

昨年10月に学園コミュニティのスローガン「進んで みんなで 最後まで」をデザイン化したロゴマークを募集していましたが、第一次選考会を終え、6点の優秀作品が決まりました。各学校PTAの本部役員の方々が選考に当たり、学校代表作品を2点ずつ選考しました。入賞された皆さん、おめでとうございます。今後、学園運営協議会の委員の皆さんがこの6点から最優秀作品1点を選考します。選ばれた作品は、令和3年4月から2年間、学園関係の配付物に掲載して活用させていただきます。(最終選考中のため作成者の氏名は伏せさせていただきます。)たくさんの応募をいただき、ありがとうございました。



中学校の先生が小学校で授業中！

「中一ギャップ」といわれる中学校進学への不安を少しでも取り除く活動として、兼務（小中学校の両方で指導）による授業を行っています。9月から両小学校の花田先生（東郷小）と山田先生（南郷小）が中学校へ行って7年生（中1）を教えていましたが、12月からは、逆に中学校の先生が小学校へ行って指導に当たっています。東郷小へは、吉廣精人先生、南郷小へは、佐藤祐樹先生です。どちらも毎週月曜日に、6年生の体育の授業を受け持っています。週に1回と回数は少ないですが、中学校の良さである専門的で規律のある授業が展開され、中学進学への不安解消の第一歩になっています。



【東郷小でバレーボールの授業をする吉廣先生】



【南郷小でバスケットの授業をする佐藤先生】

中学生の活躍

【鬼の看板作成に精を出す美術部の皆さん】



2月21日（日）に東郷コミュニティで開催が予定されている子供教室「いせきんクエストII」。10個ほどのブースに準備されたクイズやゲームをしながらスタンプを集めるウォークラリーです。この行事を行うために中学生の2つの大きな力が役立っています。一つは、ブースで使われる小道具（パネル）の作成を美術部の人たちに、もう一つは、ブースの運営スタッフを全体に依頼しています。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出されているため、3月14日に延期となり、実施もどうなるかが心配されるどころですが、中学生の活躍が楽しみです。

中央学園サポート本部・サポート隊って何？

学校や家庭・地域での子供たちの活動をより活発なものにしていくには、支援する人的スタッフの充実が不可欠です。そこで、活動支援に多くの方が関わっていくことができるようになる仕組みを作ります。それがサポート本部事業です。子供の活動に関心がある方を会員登録し、「サポート隊」という組織を編成します。通信アプリなどを使って情報を一元化することで、依頼者と会員の連絡がしやすくなったり、たくさんの方への情報提供ができるようになったりします。情報が多くなれば「できる時間に、できることを、できるだけ」が可能になります。

本部には、連絡・相談係として「サポートリーダー」と呼ばれる人を置き、円滑な運営ができるようにしていきます。現在、東郷地区、南郷地区の有志が集まって、中央学園サポート本部設立に向けた準備を進めています。令和3年度には、会員の募集を始める予定にしています。

